

第48回 沖縄県公衆衛生大会 特別講演

いまだきの災害医療 ～おきなわ、どうする～

講師：佐々木 秀章 氏
(沖縄赤十字病院 救急部長)

主催 沖縄県
一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会



沖縄に大災害は来ない、と信じている県民が多い。それとも知っているのに何もしないのか…内地であった出来事もどこか遠い国の様に思っていないだろうか？

日本の災害医療は阪神淡路大震災、東日本大震災そして熊本地震等からさまざまなことを学び、防災に減災の考え方を加えて東南海や首都直下型地震、そして東京オリンピック等への備えを進めている。

今回は各々の災害での経験を通して医療の課題とその対策、さらに今の沖縄での想定や県内で実施されている訓練について紹介し、今後各地域での災害対策の一助となることを願っている。

【講師プロフィール】

日本DMATインストラクター、統括DMAT、日本赤十字社災害医療コーディネーター

1982年宮城から沖縄へ。琉球大学卒業後は沖縄県立中部病院外科で研修。その後医師不足の北部や八重山で外科・救急医として勤務。2009年より現職。

2000年沖縄サミットで医療の実務担当を務め、東日本大震災、熊本地震では救護班や医療コーディネーターとして派遣された。現在県内各種訓練の想定作成や運営調整を担っている。

入場
無料

2016年

11月4日(金)

13:30 ~ 15:00

場所：沖縄県市町村自治会館
2Fホール
(那覇市旭町 116-37)